

第 3 1 回 鳥取県図書館大会

“〇〇”と図書館 ～図書館の明日を^{えが}く～



浦富海岸菜種五島（岩美町）

期 日：令和8年7月30日（木）
会 場：岩美町中央公民館（岩美郡岩美町浦富1038-6）
主 催：鳥取県図書館協会
共 催：NPO法人本の学校、鳥取県学校図書館協議会
鳥取県公共図書館協議会、鳥取県教育委員会
後 援：鳥取県書店商業組合、公益社団法人日本図書館協会

目次

開催要項	1
会場案内	5
基調講演	8
事例発表	19
分科会 1	40
分科会 2	50
分科会 3	51
分科会 4	52

第31回 鳥取県図書館大会 開催要項

- 1 大会テーマ 「“〇〇”と図書館 ～図書館の明日を^{えが}く～」
生活、仕事、学校、趣味の楽しみや居場所、私たちにとって、図書館はどのような場面で必要な存在なののでしょうか。「“〇〇”と図書館」というフレーズで始まる各プログラムへの参加を通じ、自分自身にとって、そして社会にとって、今後図書館がどういった存在であるべきなのかを参加者皆で考えます。
- 2 主 催 鳥取県図書館協会
- 3 共 催 NPO法人本の学校、鳥取県学校図書館協議会、鳥取県公共図書館協議会、鳥取県教育委員会
- 4 後 援 鳥取県書店商業組合、公益社団法人日本図書館協会
- 5 期 日 令和8年7月30日（木）
- 6 会 場 岩美町中央公民館（岩美町浦富1038-6、0857-72-0510）
いわみんホール、研修室1～5
- 7 内 容
 - (1) 開会行事
挨拶：鳥取県図書館協会 会長 齋藤 明彦
鳥取県教育委員会 教育長 足羽 英樹 氏
岩美町教育委員会 教育長 大西 泰博 氏
 - (2) 基調講演
演題：「“あそび”と図書館 ～真庭市立図書館での挑戦と実験～」
講師：西川 正 氏（真庭市立中央図書館長、NPO法人ハンズオン埼玉副代表理事）
＜講師プロフィール＞
学童保育所、出版社、NPO支援センター等を経て、2005年、ハンズオン埼玉を設立。「おとうさんのヤキモタイム」キャンペーンや「トークフォークダンス」などコミュニティを育むさまざまなプロジェクトを提案。まちづくりや子育て支援の研修等の講師やファシリテーターとして活動。元恵泉女学園大学特任准教授。立教大学・大妻女子大学等で非常勤講師。著書に『あそびの生まれる時「お客様」時代の地域活動コーディネーション』（ころから）等。
 - (3) 事例発表「“わたしたち”と図書館 ～図書館応援団の活動報告～」
鳥取県では、公共図書館に自分事として関わり、その魅力化、活性化を目指して活動する「図書館応援団」が増えています。その想いや取組を御紹介いただき、サービスする側とされる側の関係を超えた図書館と利用者との関係性、公共施設としての図書館の今後のあるべき姿について考えます。
発表団体：ちえの森応援隊（智頭町）
日野町図書館友の会（日野町）
江府町図書館友の会（江府町）
南部町立図書館応援団なんぶらりー（南部町）

(4) 分科会

	テーマ	内容	講師・発表者等
1	“コミュニティ”と図書館 ～新館整備後に見えてきたこと～	平成27年以降、県内には6つの新しい公共図書館が誕生しました。そのうちの3館の取組から、本の提供だけに留まらないコミュニティの拠点として機能する図書館の在り方を学びます。	＜発表者＞ ・境港市図書館 館長 嘉賀 収司 氏 ・岩美町中央公民館 次長 松本 邦裕 氏 ・南部町立図書館 館長 角田 有希子 氏
2	“読書推進”と図書館 ～朝読書再考（最高）岐路に立つ取組の未来を展望する～	学校図書館が大きく関わり取組んでいる朝読書の存在意義が問われています。今の時代だからこそその取組の意義や必要性、課題を共有します。	＜発表者＞ ・鳥取市立稲葉山小学校 校長 砂場 路子 氏 学校司書 西口 美智子 氏 ・鳥取市立気高中学校 教頭 村中 ひろみ 氏 学校司書 北村 正美 氏 ・鳥取県立岩美高等学校 司書教諭 宮本 知子 氏
3	“手作り絵本”と図書館 ～絵本を創る楽しみを味わおう ○・△・□から生まれる世界～ 【ワークショップ】	県西部を拠点に活動する絵本作家しまだようこさんをお招きし、図形を使った絵本創りのワークショップを実施します。絵本の創作の過程やその楽しさを体験します。定員25名。 ※当日会場で材料費300円をお支払いいただきます。 ※スティックのり、ボンド、色鉛筆などの描画材を各自御持参ください。	＜講師＞ 絵本作家 しまだ ようこ 氏
4	“出版”と図書館 ～地域の記憶を残すために～【NPO法人本の学校 主催】	地域資料を収集・整理し公開する図書館の役割と、情報公開や広い意味での“出版”の可能性について、「一箱古本市」の仕掛人でもあり、各地の図書館を取材する南陀楼綾繁氏に御講演いただきます。	＜講師＞ ライター・編集者 南陀楼 綾繁（なんだらう あやしげ）氏 ＜意見交換コーディネーター＞ NPO法人本の学校 理事長・上智大学文学部新聞学科教授 柴野 京子 氏

8 日 程

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会行事
10:15～11:45	基調講演
11:45～13:15	休憩
13:15～14:45	事例発表
14:45～15:00	休憩
15:00～16:30	分科会

※悪天候などによる中止・開催方法の変更などについては、当日午前7時を目途に鳥取県立図書館ホームページに掲載します。

9 参加対象 県内外の図書館や読書に関心のある皆様

10 参加費 ○鳥取県図書館協会の会員：無料

・同時入会、会員更新可：年会費一口2,000円以上：入会した場合の大会参加費は無料。

・施設会員、団体会員は団体・施設ごとに1名が無料で参加可能。（施設・団体会員枠で参加を希望される場合は、事前に施設・団体内で無料参加者を調整してください）

○会員外：参加費500円

・オンライン参加者は資料を無料でダウンロードできます。ダウンロードが困難な方には郵送いたしますのでお知らせください。（資料郵送代：会員無料、会員外230円）

※支払い：会場参加の方は当日受付で、オンライン参加の方は7月23日（木）（資料の郵送を希望される方は7月16日（木））までに以下の口座にお振込みください。

振込名義は参加申込者名としてください。また、振込手数料は御負担ください。

振込先：〈郵便振替〉 口座番号：01360-5-93397 口座名：鳥取県図書館協会

11 開催方式 会場参加及びオンライン参加

※オンライン配信はZ o o mで実施します。（個人視聴のみ、後日の配信はなし）

※分科会3のオンライン配信はありません。

12 定 員 会場参加 300名 オンライン参加 300名

13 申込締切 7月23日（木）

※オンライン参加で資料の郵送を希望される方の申込締切は7月16日（木）。

14 問合せ先・申込先・申込方法 等

【問合せ先】鳥取県図書館協会事務局（鳥取県立図書館内）

電話：0857-26-8155 ファクシミリ：0857-22-2996

電子メール：toshokan@pref.tottori.lg.jp

【申込先】第31回鳥取県図書館大会実行委員会事務局（鳥取市立気高図書館）

電話：0857-37-6036 ファクシミリ：0857-37-6037

電子メール：kt-library@city.tottori.lg.jp

【申込方法】二次元コードからG o o g l eフォームでお申込みください。

※G o o g l eフォームが利用できない方は、チラシ裏面の申込用紙により、鳥取市立気高図書館へメール、またはファクシミリでお申込みください。

※チラシ（申込用紙）は鳥取県立図書館のホームページからダウンロードできます。

※フォーム、メール、ファクシミリでの申込みが困難な方は、鳥取市立気高図書館へ電話で御連絡ください。

※申込用G o o g l eフォーム 二次元コード →

URL：<https://forms.gle/TDSw73SLN116HWpAA>

【個人情報の取扱いについて】

提出いただいた個人情報は、本大会運営の目的にのみ使用し、法令に従って取り扱います。



15 手話通訳・要約筆記等について

・開会行事・基調講演・事例発表：手話通訳者と要約筆記者を配置します。

・分科会：申込時の御希望に応じ、予算の範囲内で、手話通訳者、要約筆記者を配置します。

・配布資料の拡大印刷やデータの提供等が必要な方は鳥取県図書館協会事務局（鳥取県立図書館）までお知らせください。

16 情報交換会について

日時：令和8年7月30日（木）午後6時から8時まで

会場：アートプレイス すなば珈琲（鳥取市尚徳町101-5、電話：0857-50-1500）

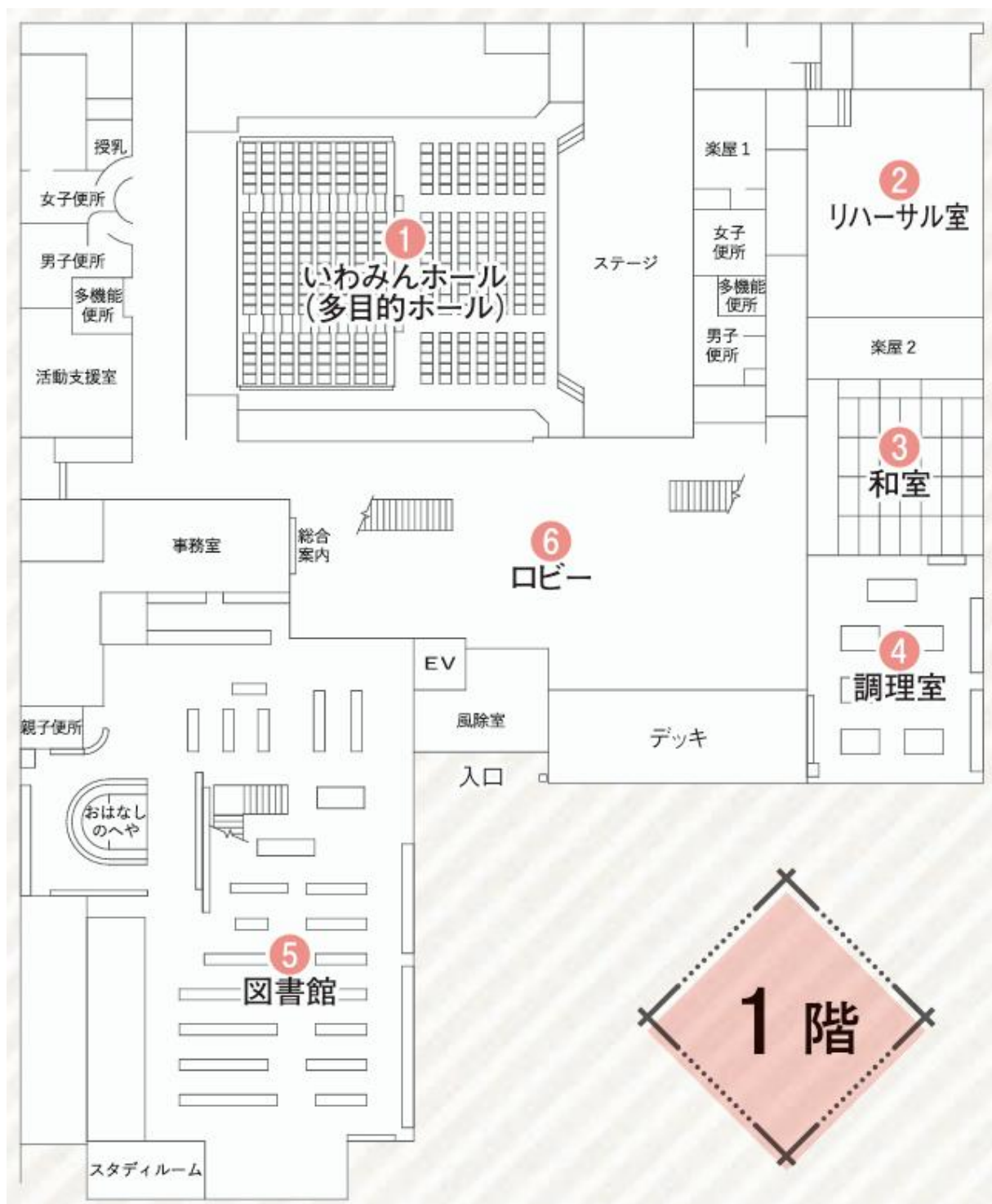
定員：40名

参加費：6,600円（税込）当日会場でお支払いください。

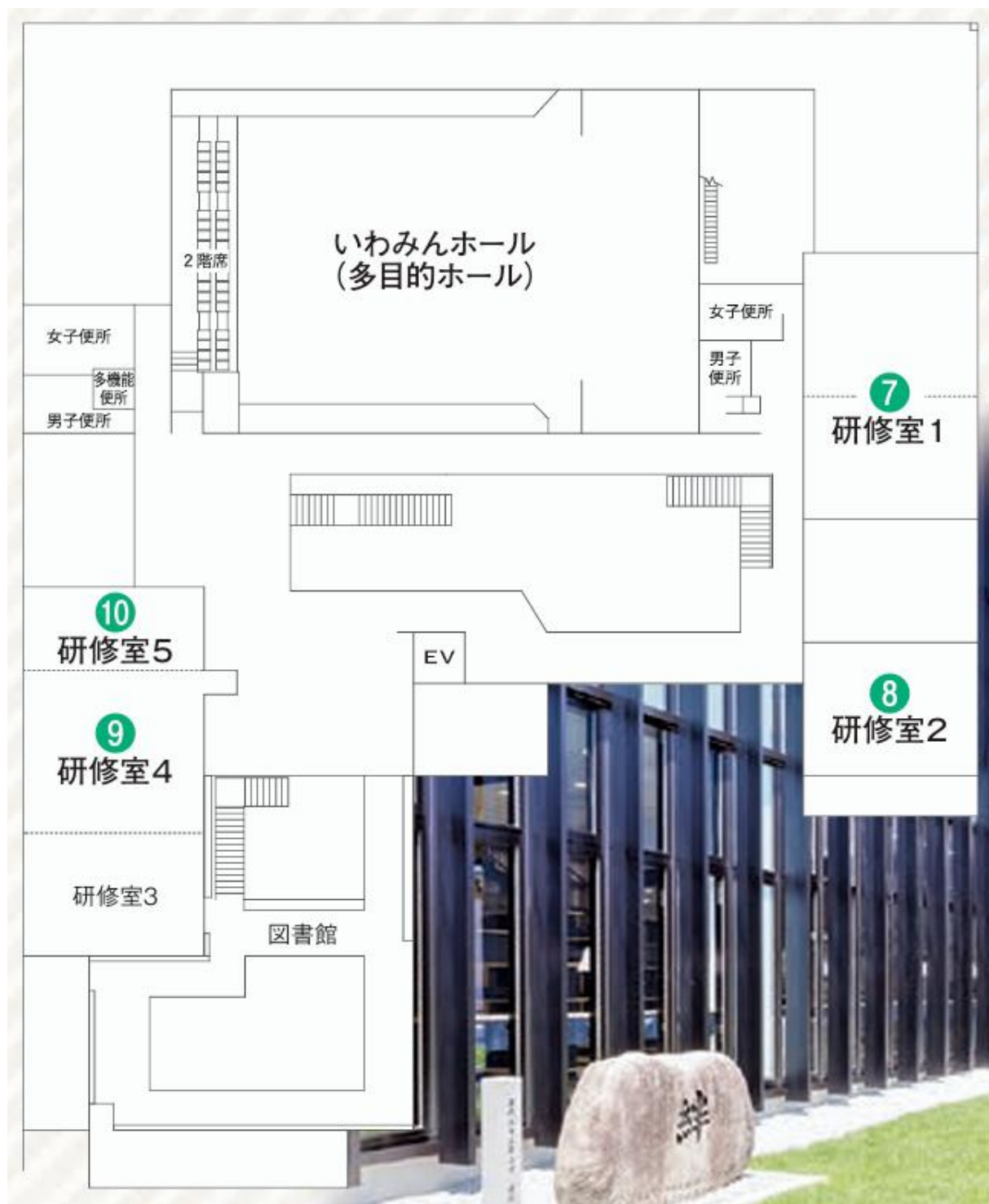
会場案内

プログラム	会場
開会行事	いわみんホール（１階）
基調講演	いわみんホール（１階）
事例発表	いわみんホール（１階）
分科会 Ⅰ “コミュニティ”と図書館 ～新館整備後に見えてきたこと～	研修室３・４・５（２階）
分科会 Ⅱ “読書推進”と図書館 ～朝読書再考（最高）岐路に 立つ取組の未来を展望する～	いわみんホール（１階）
分科会 Ⅲ “手作り絵本”と図書館 ～絵本を創る楽しみを味わおう ○・△・□から生まれる世界～ 【ワークショップ】	研修室２（２階）
分科会 Ⅳ “出版”と図書館 ～地域の記憶を残すために～ 【ＮＰＯ法人本の学校 主催】	研修室１（２階）

岩美町中央公民館 1階



岩美町中央公民館 2階



基調講演

“あそび”と図書館 ～真庭市立図書館での挑戦と実験～

講師：西川 正 氏

（真庭市立中央図書館長、NPO 法人ハンズオン埼玉副代表理事）

【講師プロフィール】

学童保育所、出版社、NPO 支援センター等を経て、2005 年、ハンズオン埼玉を設立。「おとうさんのヤキモタイム」キャンペーンや「トークフォークダンス」などコミュニティを育むさまざまなプロジェクトを提案。まちづくりや子育て支援の研修等の講師やファシリテーターとして活動。元恵泉女学園大学特任准教授。立教大学・大妻女子大学等で非常勤講師。著書に『あそびの生まれる時「お客様」時代の地域活動コーディネート』（ころから）等。

“あそび”と図書館

～真庭市立図書館での挑戦と実験～



ジテン
真庭の図書館に
住んでいる猫



こんにちは 真庭市立中央図書館の西川です。
本日はよろしくおねがいたします。



FaceBook



instagram



ホームページを
ぜひご覧ください。
司書による本の紹介
コーナーもあります。

待ち合わせ場所



図書館は、とき
には子供たちの待
ち合わせ場所にな
ります。しかし6
月の終わりのある
日、友達はなかな
かやってきません。

手持ち無沙汰にしている小学生の女の
子に「壁の飾りつけやらない？」とお手
伝いを提案したら、「やるやる！」とうれ
しい返事が返ってきました。

彦星や織姫、天の川を手にとって、こ
こに貼るのはどうかな、こうしたほうが
いい、とあれこれ言いながら壁にペタペ
タと貼り付けます。あっという間に7月
の壁面飾りが完成しました。次は何をし
ようか、という雰囲気の中、「これなんだ
ろ」と女の子が持ってきた本がこの『動
物たちの惑星』です。海を泳ぐ象の表紙
が印象的な、野生動物の写真集です。

「象って泳ぐんだね」「なんの動物かな？
いっぱいいる」「シロクマって、なんでシ
ロクマなんだろう。白いから？」「えー！
このパンダ見てー！なんて言いながらペー
ジをめくる女の子と、側で覗き込む司書。
わいわい言いながら眺めるのは、一人で
見るのとは違う楽しさがあります。
そうつしていると、友達がやってきまし
た。

「いってきまーす」
「いってらっしゃい」

(美甘図書館・かも)

月刊ガバナンス 2024年11月号より「あそびの生まれる図書館～みんなが当事者になれる場へ」西川正

一人ひとり持つっている経験や好み、
意見が違う。その違いを楽しみ、学
ぶための場として図書館は様々な可
能性を持つ。そう実感した2年半だ
った。こうした市民との試みが評価
され、先日『Library of the Year
2023』の優秀賞をいただいた注5)。

「応え」のある図書館に

私は滋賀県北部の山間の集落で育
ち、18歳で東京に出た。それから長
い間、地元に戻りたいとは思わな
かった。理由は、自分がやりたいこと
がやれる気がしなかったからだ。女
性や若者が、やりたいことをできる
場所ではないと感じてきた。「そう
いうもんだ」という「答え」が最初
からある場所では、あそび（やって
みたい）は生まれない。

真庭市でも多くの若者が18歳で市
外に出る。だからこそ18歳までに
「ここは自分のやりたいことができる」
「ここは応援してくれる人たちがいる
まちだ」と思える経験をしてほし
い。多様な大人に出会ってほしい。
そうすれば都市に出て、また戻っ
てこようと思えるのではないか。

人口減少対策で、子どもたちに歴
史など地元の魅力を教えるべきだ
という声をよく聞く。それも必要だ

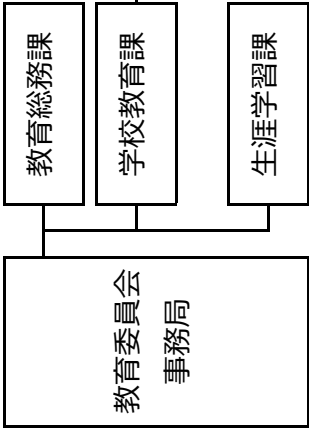
う。しかしまず保障したいのは、子
どもたちが自由にあそぶ、やってみ
たいができることなのではないか。
愛着は自分が動いた分だけ蓄積され
る。

図書館ができることは何か。私は
「応え」(response) なんだと思
う。図書館は「答え」(answer) の
ある場所のイメージがあるが、学び
もまちづくりも必要なのは「応え」
のほうなのではないか。カウンター
に行けば、一緒に探したり、調べた
りしてくれる。呟きを拾い、面白
がってくれる。おしゃべりの中からア
イデアが生まれる。実際、図書館に
市民からもちこまれる企画は年々増
えている。市民のために (for) か
ら、市民とともに (with) へ。そ
うすれば図書館はあそびの生まれる
場所になる。

この冬、中央図書館では、地元の
小学6年生に子どもたちが一日図書
館を運営する企画を準備している。
探究学習の一環で地元の小学校から
声をかけてもらった。冒頭に紹介し
た、日々、図書館でやんちゃをして
きた子たちに運営側に回ってもらっ
て、現在、子どもたちが企画を練って
いる段階だ。「やりたいことを提案し
て！どうやったらできるか私たちも
一緒に考えるから」と応えている。

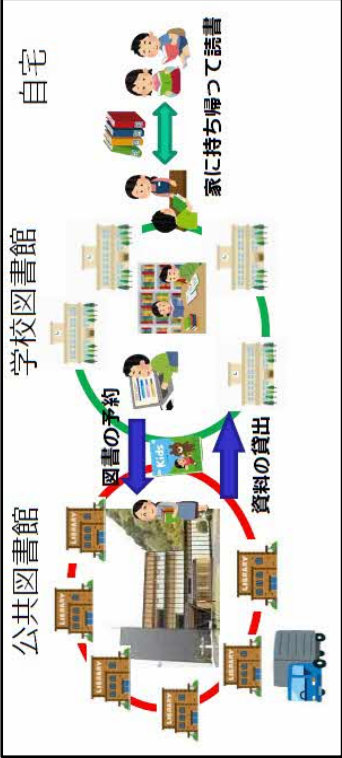
注5 先進的な活動を行っている図書館に対して贈られる賞。特定非営利活動法人知的資源イニシアティブが主催。https://www.iri-net.org/loy/

市域が広大な真庭市では、自分の力だけで図書館に行くことができる児童生徒は限られているため、R6年度から学校で公共図書館の本を借りられるようにしている。



小学校 (21校)
中学校 (5校)
学校司書9名(任期付職員)
※1名が2～3校兼務

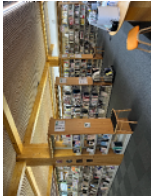
蔵書検索システムを連携



中央図書館

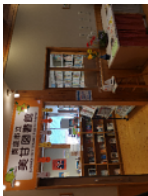


北房図書館



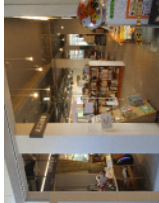
落合図書館

久世図書館



美甘図書館

湯原図書館



蒜山図書館



ブックるんまにわ



図書館振興室

室長1
司書2(正職)
再任用職員1
計4名

中央図書館

体制：館長1名(専任)

司書6名(任期付職員) 会計年度職員 3名(4H) 移動図書館1名

北房図書館

体制：館長1名(兼務)

司書1名(任期付職員) 会計年度職員(4H/日) 3名が交代勤務

落合図書館

体制：館長1名(兼務)

司書1名(任期付職員) 会計年度職員(9H/日) 3名がシフト勤務

久世図書館

体制：館長1名(兼務)

業務委託先職員(9H/日) 3名でシフト勤務

美甘図書館

体制：館長1名(兼務)

司書1名(任期付職員) 会計年度職員1名(任期付職員休日の代替勤務)

湯原図書館

体制：館長1名(兼務)

司書1名(任期付職員) 会計年度職員3名が交代勤務(任期付職員休日の代替勤務)

蒜山図書館

体制：館長1名(兼務)

司書1名(任期付職員) 会計年度職員(4H/日) 3名でシフト勤務

開館時間	休館日	蔵書冊数	貸出者数	貸出冊数	来館者数
9時 - 19時	月	109,923	16,549	76,371	69,864

単独館

公民館と複合

市役所支所、公民館、文化センターと複合

委託事業者が運営

市役所支所、公民館、文化センター、保健福祉センターと複合

市役所支所、公民館、文化センターと複合

市役所支所と複合

真庭市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則により、市長部局の地域振興課長を館長としている。

提言
2025

私の勤務する真庭市立中央図書館には、市民から多様な企画が持ち込まれる。

2月、地元の小学6年生が探究学習の一環で図書館を一日まるごと運営してくれた。カウンター業務だけでなく読み聞かせや焼き芋などのイベントを班に分かれて活動。館内は子どもたちで大騒ぎ。3月、市内の若者支援NPOと協働し、若者文化祭を開催。バンド演奏から鉄道模型まで多彩な遊びにぎわった。

6月、市民有志によるパレスチナ映画の上映。深刻な現状にできることはないかと考える。7月、放課後等デイ

社会インフラとしての図書館

真庭市立中央図書館長 西川 正氏

サービスに通う子どもたちが自ら育てたタマネギを使ったお祭り。8月、図書館前で盆踊り。途絶えていた盆踊りを3年前に若手市民が有志で復活。塗り絵になっているチラシをみんなで塗って町に張り出す。七輪で焼く食材やくじ引きの景品も参加者の持ち寄り。まちの人々による寸劇も披露され、手作りの温かいお祭りになった。

常設のプロジェクト「真庭校歌研究室」では、閉校になった小中学校の校歌につ

いて市民に呼びかけ、協力者に歌ってもらい、動画で記録し公開している。子ども頃の思い出を語る年配のみなさんの表情はとても豊かだ。

こうしたさまざまな取り組みが評価され、昨年、先進的な図書館に贈られる「Library of the Year 2024」の優秀賞を受賞した。

振り返って私たちが大事にしてきたことを、あえて一言でいうと、市民の声に「応え」(response)のこと、

市民に応える人的投資を



にしかわ・ただし 1967年滋賀県生まれ。学童保育所、出版社、NPO支援センター等を経て、2005年に市民参画型のまちづくりに取り組むNPO法人ハンズオン埼玉を設立し、現在は副代表理事。元恵泉女学園大特任准教授。2024年4月から真庭市立中央図書館長。著書に「あそびの生まれる場所」「お客様」時代の公共マネジメント」など。

だ。図書館は「答え」(answer)のある場所と見られがちだが、人の学びやまちづくりに必要なのは「応え」(response)なのではないか、と。

答えを求めて市民は図書館に来る。司書と一緒に資料を探し調べる。その場で答えが見つからなくても、一緒に悩んでくれたという実感、すなわち応えがあれば、また図書館に行つて相談してみよう、学び続けよう、となる。さまざまな企画も「ああでもない」「こ

うでもない」と一緒に考えると、いろいろなアイデアが生まれてくる。しかし、もっと大事なことは、その応えあう関係があると、結果が分らないことでも「やってみよう」という気持ちが生まれてくることだ。

AI(人工知能)の登場で、すでに分かつては答えにたどりつくスピードは格段に速くなった。しかし、答えのない問いを、試行錯誤する楽しさは、誰かとの関係の中でしか生まれてこない。その楽しさの広がりは、あらたな出会いや活動を生む。出会いがあると、結果、このまちで暮らしてよかったと思う人が増える。若者がこのまちに残る、このまちに戻るという選択肢につながる。

とはいえ、こうした市民の学びたい、やってみようという気持ちに実際に応えていくには、かなりの時間と手間がかかる。「応え」には言い換えれば、じっくり話を聴くということだからだ。経験と知恵すなわち専門性も必要になる。つまり人的投資が必要になる。自治体の財政は厳しく、どの分野も人手が足りない。しかし、その投資は何倍にもなつてまちを潤す。

図書館を含む社会教育は、例えば水道や医療に比べると、短期的には不要不急の存在だ。しかし、長い目で見れば、地域に必須のインフラであることを社会の共通認識にしていきたい。

読書週間と図書館

きょうから来月9日まで「読書週間」。今年の標語は「いっしょにあたまの深呼吸」である。

目まぐるしい日常に息づいて心を整えるために、また新しい知識を頭に取り入れるために、私たちは本を開く。

さまざまな著者の多様な考え方に触れることは、社会の分断が懸念される中、より大切だ。

その案内役の一つと言えるのが公共図書館だ。岡山県内にも約70館あり、展示やサ-

ページめくる喜び広めて

2025.10.27

社説

学びやまちづくりに必要なのは「応え」(response)なのではないか、と。

や読み聞かせなど多彩な催しの企画、運営まで担った。市民が図書館と一緒に資料を探し調べることも、もちろん行っている。答えが見つからなくても、一緒に悩んでくれたという実感があれば、また図書館に行つて相談してみようという気持ちになる。自治体の財政は厳しく、どの分野も人手が足りない。しかし、その投資は何倍にもなつてまちを潤す。

図書館を含む社会教育は、例えば水道や医療に比べると、短期的には不要不急の存在だ。しかし、長い目で見れば、地域に必須のインフラであることを社会の共通認識にしていきたい。

同館には市民から多様な企画が持ち込まれる。例えば、今年2月には、地元の岡山小6年生36人が探究的な学習の一環で図書館を運営し、カウンター業務から、館内ツアー

「図書館は『答え』(answer)のある場所と見られがちだが、人の学びやまちづくりに必要なのは『応え』(response)なのではないか」

閉校・休校に伴って歌われなくなった真庭市内の小中学校校歌を後世に残そうと、同市立図書館と地域おこし協力隊が協力して情報を集めている。かつて地域で育ったほとん

真庭

どの人が口ずさんだ校歌を『地域の記憶』として記録保存し、懐かしの校歌を通じて新たな交流につなげられたらと活動している。
(中浜沙里)

閉休校の小中校歌後世に

市立図書館と地域おこし協力隊 “地域の記憶” 情報収集



市内小中学校の校歌について情報を集める「真庭校歌研究会」のメンバー

思い出通じ新たな交流も

市内で1947年の収集を通じて地域の学校教育法施行後に会話を広げられるに情報提供を呼びかけ閉・休校したのは分たのではと活動を始め、歌詞やメロディーを含め49校、うち歌詞た。市立図書館と地域併せ、校歌や学校生活からのは6校のみで、おこし協力隊の協働事業として「真庭校歌研究」を設立。西川正・中央図書館 長と同館の上杉朋子司 藤山下福田「では『歴』るのも図書館の務め」 究室」を設立。西川正・中央図書館（同市と西川正・中央図書館 長と同館の上杉朋子司 藤山下福田「では『歴』長。加えて、高齢者に書、協力隊員の酒井悠史はこに、50年」と幼少期の思い出話を聞さん39と井慶（本名）という歌詞を、私たちはくと元気を取り戻して・高橋敦子さん36「90年」に替えて歌ってくる経験から、校歌を中心7月から、各た（旧福田小）「最

後の一節だけ思い出さない（旧川上中）などの記憶とともに情報が寄せられた。酒井さんは「協力隊としても地域を知る上で重要な活動」と位置づけ、力を注ぐ。現存する小中26校の校歌や、思い出も併せて集め、成果は動画投稿サイト・YouTubeの市立図書館公式チャンネルで紹介していく。

26、27日は北房図書館、10月12、13日は美甘図書館で活動する。問い合わせは中央図書館（0867742012）。

真庭

中央図書館 初の宿泊イベント

記者も参加

図書館に泊まったこと、ある？真庭市勝山の中央図書館は館内が『寝室』になるユニークな宿泊イベントを初めて開いた。飽きる

飽きるまで読書 書架の間で睡眠



本棚に囲まれ、段ボールのベッドでいっしょに参加者

「皆さん、枕は持って長が家族連れや若者、きましたか？」。9月13 高年ら集まった24人に声日午後7時すぎ、閉館しをかけた。段ボールベッド外は真っ暗。西川正館ドが貸し出され、開架エ

まで本を読んだり、書架の間で寝てみたり…。夜の図書館で人は何をして過ごすのか、記者も参加してみた。
(中浜沙里)

館長ら 人気ラジオ番組出演も



200回目放送のラジオ番組に電話で生出演する西川館長（中央）と参加者

リアの好きな所で寝たいという。みんなで自己紹介を終え、寝床作りに取りかかった。

2階児童書エリアの書棚の間に寝床を構えたのに、手根本のコーナーで趣味の縫い物や「かいけつゾロリ」といった人気シリーズに囲まれた。右にも左にも大抵な本。今日はいっばい読める」とうれしそう。美見さんに倣い、記本が視界を遮る。2000回放送のラジオ番組に電話で生出演する西川館長（中央）と参加者

開催のきっかけは作家が、お薦めの本を紹介するコーナーで、趣味の縫い物や「かいけつゾロリ」といった人気シリーズに囲まれた。右にも左にも大抵な本。今日はいっばい読める」とうれしそう。美見さんに倣い、記本が視界を遮る。2000回放送のラジオ番組に電話で生出演する西川館長（中央）と参加者

あそびと図書館

あそびの生まれる図書館

≡ やってみたいが生まれる場所

まちづくり

≡ やってみたいがたくさんある。

何ができたか？ではなく、
どんな時間を過ごしたか。



←ジテン いいいます。

本も出てます



機会があったら、
なにか一緒にしませんか。
西川正 携帯 090-3574-9794
nishikawa@hands-on-s.org
https://www.facebook.com/nishikawa
滋賀県高島市生まれ。埼玉の団地で子育て。
保育所保護者会・PTA・民生委員などを経験し、
地域を考えるようになる。
岡山県真庭市立中央図書館長 (2022年4月～)
埼玉と岡山 800km 6時間を往復中。

NPO 法人ハズオン埼玉 副代表理事
生活協同組合パルシステム埼玉理事
NPO 法人おきく子育ての会 相談役
元恵泉女子大学特任准教授
大妻女子大学・立教大学非常勤講師 他

・2005年に

5町4村が合併して誕生

・地域の約80%が森林

・人口約4万人

真庭市



遊ぶと学ぶの 場づくり

人がつながり・動き出すのは
どんなとき？どんな場所？

何かをしてみよう
思える環境とは？



一息、不要不急ですが、
なくてはならないもの。
ないと、うまく動かないもの
それが「あそび」

あそび

= 余白、余裕、安心

遊ぶ

= 未知の世界と
出会う心のふるえ

「やってみる」

遊ぶ (やってみる)

あそび (安心と
工夫の余地)

doing

being

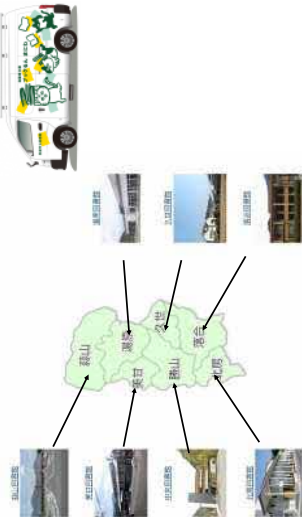
あそびを保障すると、遊びが生まれる

中学生と大人、



新刊です

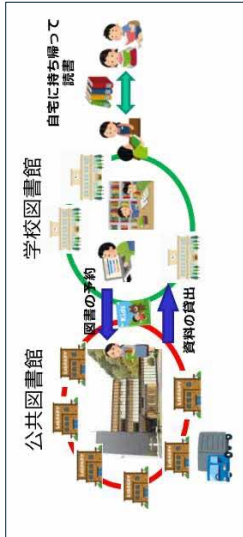
中央図書館 +6つの地区館 +自動車文庫



広大な面積を
7つの図書館と自動車文庫でカバーしています。

- 2005 上野郡北房町、真庭郡勝山町、落合町、湯原町、久世町、美甘村、川上村、八束村、中和村が合併して真庭市となる 真庭市立中央図書館創設 (前・真庭市教育事務組合立図書館)
- 2012 「真庭市図書館基本構想」 策定
- 2015 「真庭市図書館基本計画」 策定
- 2016 条例改正により、落合図書館、北房図書館、美甘図書館、湯原図書館が、図書館となる
- 2018 中央図書館開館 市民ワークショップ～みんなであそぼう みんなの図書館～
- 2019 中央図書館、北房図書館、落合図書館、真庭市図書館に任期付職員配置
- 2020 中央図書館内に図書館振興室設置
- 正規職員として司書を採用 図書館そだて会議開始
- 2021 「真庭市図書館みらい計画(真庭市図書館基本計画・子ども読書活動推進計画)」 策定
- 2022 市内小中学校図書館蔵書データベース化完了
- 2023 学校図書館と公共図書館のデータの一元管理・連携開始
- 2025 「第二次図書館みらい計画」を策定

2024年 新システム導入
学校図書館と公共図書館のデータの一元管理・連携開始



公共図書館の本を、学校で
借りられるようになりました。



吉田右子先生に講演をおねがいし、
市民のみなさんと一緒に学びました。



【真庭市立図書館の使命】
市民と団体による
地域自治の拠点として
積極的な役割を果たします



日本の図書館では、「しずかに」という貼り紙とか掲示を館内によく見かけるのですが、恐らく北欧の人がそうしたポスターを図書館で見たら、ものすごくびっくりしてしまうと思うんですね。
携帯電話の通話や、あるいはおしゃべりすること、飲食すること、これらは北欧の公共図書館では禁止されています。例えば図書館の雑誌コーナーでレシビを見ていて、「あ、これは今晚のおかずがいいな」と思ったら、その場でスマホを取り出し家族に電話し、「冷蔵庫の中にお豆腐ある？」とおしゃべりすることが可能です。あと、コンピューターゲームがない図書館は皆無ですので、本を見るのに飽きたら、コンピューターゲームで遊ぶことも可能だったり、とにかくいろいろなことができるのが北欧の公共図書館です

吉田右子先生 / J Rレビュー 2022 Vol.6, No.101



休校・閉校になった
小中学校の校歌を
みんなが集めて、
みんなで発信



「市民や団体による地域自治」とは、市民がさまざまな情報を共有し、対話を重ね、必要な資源をもちよること、地域にかかわる取り組みを行っていくことです。
真庭市立図書館は、市民の知る自由と学ぶ権利の保障の基盤となる資料の収集と提供、多様な企画の実施などを通じて、地域自治の拠点として、その取り組みを支えます。これは、真庭市がめざす「真庭ライフスタイル（多様な真庭の豊かな生活）」の実現につながるものです。

地域をつなぐ図書館
～アメリカの図書館最新事情～

アセットベースのコミュニティづくり

社会活動モデル	コミュニティのモデル
「必要なのは足りないものに注目する」「問題」を捉え、その問題を外から解決しようとする	「すでにあるもの」に注目する
行政機関・専門家がリードする	住民同士が話し合っ
目標はサービスや設備の提供・導入	目標は住民の関与を促し、地域の力を上げる
経済成長を追求する	暮らしの豊かさを求める
答えは問題対応にある	答えは地域のなかにある
住民は「お客様」	住民は「当事者」

※本日は「図書館とコミュニティ・アセット」未来の図書館研究刊 調査・研究レポート 第6号 p.22より一部を要約

IRI 知的資源・イニシアティブ
Library of the Year 2024 第二次選考会結果を発表します

Library of the Year 2024

優秀賞受賞



図書館？

地域の活動？

おもしろそう

正しい場所 楽しい場所

があったら、

どちらに
近づきたいですか？

ばかじゃないの？（失笑）

↓
「図書館に言えば

何か一緒にやってくれるかも
相談にのってくれるかも」

↓
やってみてみたいが生まれる場所

安心の保障

図書館そだて会議@赤山図書館

私、羊毛フェルトで
いろいろ作ってます



7月5日（土）

ピタゴラスの子どもたちと
「たまねぎ祭」をしました



7月20日（日）

ゲスト：秋元美知子さん

（勝山千代蔵豊稔顕保存会）

町並み保存地区の下町での暮らしや、

勝山のお盆、盆踊りのことなどをうかがいました。



図書館？

地域の活動？

おもしろそう

正しい場所 楽しい場所

があったら、

どちらに
近づきたいですか？

応え（おしゃべり）

→安心

→やってみよう

みなさんの
活動も同じですね？

いろんな人が

こんなことできないかな？ と

図書館に、もちこまれるようになった



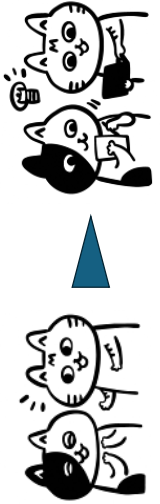
企画はどこから生まれる？

わいわいおしゃべりすると生まれる。

生まれるものは、

①「こうしたらどう？」というアイデア

②「やってみよう」という気持ち



7月20日（日）

こたつのゲーム研究会（月一回ボードゲームで遊ぶが！）
日本語サークルのみなさんと一緒に遊びました。





やってみたいが生まれる場所になるため
には何が必要か？

1 方針 職員のやってみようを支える/
あとおしする

2 体制 (余裕) 人にお金をかける
おしゃべりができる余白余地

→職員の安心をつくること
「楽しそう」→人が集まる

第二次図書館みらい計画

3 図書館運営の評価方法

真庭市立図書館では、本計画に沿った図書館の活動を次の4つの指標により評価していきます。

(1) 図書館がよくなったと思う市民の割合

自分のやりたいことをやってみて！
応援するから。

スタンブラリー	9：30～
アニメ上映	9
焼き芋・やき餅プレゼント	1
お弁当販売	1
焼肉レストラン藤州さん cafe前うらさん お食事処西蔵さん	1
カフェ	1
TABBITOSHOKUDOさん	1
お菓子の本の読み聞かせ	13：30～14：30
スポーツ体験教室	14：30～15：30
スノーボードすくい、魚釣り	14：30～15：30
絵本の読み聞かせ	14：30～15：30



図書館を通じて何をを目指すの？

公共施設は

市民が、「お客さま」として育つ場所？

市民が、市民として育つ場所？

市民＝まちの当事者になる

人にお金をかける

人ってどんな人？
どんな専門性？

司書の専門性 とは？
社会教育の専門性 とは？

ファシリテーション
コーディネート
プレイワーク……

「最初、先生どうしたらいい？」という声でした。ほんとうに何をしてもいいということがわかったら自分から動き出しました。最後は、授業時間を削ってほしい、準備がしたいと。(担任の先生)

一方、私たちにとって、一番うれしかったのは、子どもたちと友達になれたこと。彼女、彼らが図書館でなにかしても、「あんたならな～もうちょっとちゃんとしてよ～」と気軽に言える。言っても関係がきれない。

真庭ライフスタイル (真庭市総合計画より)

「すべての「人」が、安全に安心して暮らせる「まち」で、自分や家族、そして地域を大切に思い、時代や環境に合わせて、地域資源の中から真庭市で生きる価値をみつけること。自分の手で創り上げていく「生き方」、互いを誇りをもって生きていく「考え方」、互いを尊重した「暮らし方」のことであり、今の私たちの生活の中にあるものです。」

図書館ができることは何か。私は「応え」る (response) ことだと思う。図書館は「答え」 (answer) のある場所のイメージがあるが、学びもまちづくりも必要なのは「応え」のほうなのではないか。カウンターに行けば、一緒に探したり、調べたりしてくれる。泣きを拾い、面白がってくれる。おしゃべりの中からアイデアが生まれる。実際、図書館に市民からもちこまれる企画は年々増えている。市民のために (for) から、市民とともに (with) へ。そうすれば図書館はあそびの生まれる場所になる。

『月刊ガバナンス 2024/11』

第二次 図書館みらい計画

「応え (response) 」あうなかで、
「答え (answer) 」が生まれてくる場に

音のとしよかん
中央図書館
5周年記念

参加者募集!!!

もちより音楽カフェ

「好きな歌、思い出の歌を1曲ずつ持ち寄って、みんなで聞いてみる」
というシンプルな音楽会です

日時: 2023年 6月25日(日)
19時~21時

場所: 1F 飲食スペースにて

ゲスト: 西川正 (編集)

ゲスト: 江南奈佐さん (まゆの音楽家 大阪府立大学非常勤講師)

参加費: 無料 対象: どなたでも 定員: 15人

受検参考書のもちより

使い終わった参考書を持ってきてもらって、
自由に持って行ってもらう。



もちよりで、
みんなであいわい!



ほんのり図書館!
もちより図書館!

図書館前の芝生に並んだ小さな13の「図書館」。
トマト図書館、恐竜図書館、英雄図書館、アラスカ図書館、
つなぐ図書館、都市とくらし図書館、ヒトキ図書館、地きゅ
うともかしとサバイバル図書館、星野之宣図書館、音楽と歌
事詩の図書館、ゴルフの図書館、旅ねこ図書館、カンヨー
のルーツをたどる図書館……どの図書館もそれぞれ独自の空
気感があり、一つひとつを訪ねると、異なる世界をいったり
せたり、長い旅をしているようでした。



一箱図書館



●誰かが誰かにサービスをする
→苦情がかえってくる。
関係が切れる

●みんなで持ち寄る
→よい思い出になる。
関係が生まれる。



みなさんだったら、
何をもちよりますか?



もちよる